

# 図書だより

H26. 2. 5

## 3学期は、「セレクト読み聞かせ」

今年も、3学期から「セレクト読み聞かせ」を実施します。今迄の朝の読み聞かせは、各教室に先生方や図書ボランティアの方が出向いて下さいましたが、セレクト読み聞かせは、子どもたちが自分で聞きたい本を選んで予約券を貼り、指定された場所に行きます。

どんなお話か、誰が読み聞かせをして下さるか分からないので、子どもたちはワクワクしながら当日を迎えています。



●六田先生に「じごくのそうべい」を読んでもらいました。うんにやくというじごくがあると分かりました。じごくに行きたくないです。

(2年 板谷 翔斗)

●火事があってから近所の人達がいろいろなものをくれてやさしいと思いました。びんの中にお金をためて、いすを買っていてすごいと思いました。

(4年 和嶋 心咲)

●「東北の動物たち」を小下先生に読んで頂きました。実物大の写真で、思っていたより大きいのもあってびっくりしました。一匹一匹にいろんな物語があって、改めて津波は大変だったんだと思いました。

(6年 角田 優月)



## ＜おすすめの本＞

2月は、校長先生のお薦めの1冊です。



とても衝撃的な書名ですが、「今の若者がどのような思いでこの時代を生きているのか」大人達の「自分たちとは時代が違う」という簡単な言葉で済ませず、どこがどういうふう違うのかをデータをもとに教えてくれます。

誰からも傷つけられたくないし、傷つけたくもない。周囲から浮いてしまわないように神経を張り詰め、その場の空気を読む。誰にも振り向いてもらえないかもしれないと怯えながら、ケータイ・メールでお互いのつながり確かめ合う若者たち。

いじめやひきこもり、リストカットといった現象を取り上げて、その背景にある「やさしい関係」とは？

中田 晴夫